



千代田明子の大人のピアノレッスン解決塾

●千代田明子
国立音楽大学楽理科卒。ピアノを井上初子、ボビュラー理論を橋本見一の各氏に師事。卒業後、関西武百貨店でトップセールスとして勤務の後、魚津経営実務研究所で一般企業の社員研修講師を務める。現在は「大人のためのピアノ教室」を主宰。ピアノ指導のかたわらピアノ教育誌からビジネス誌にいたるまで執筆を行っている。「大人のピアノ」を広めるために幅広く活動を続けている。著書に「大人のらくらくピアノ21」「おとなのためのテクニク・マスター全3巻(共著)」(以上ドレミ楽譜出版社)。

Q 初めて大人を教えますが……

千代田先生こんにちは。私は、ピアノ教師になって4年目です。これまで子どもに限って生徒募集していたわけではないのですが、生徒は全員子どもでした。
ところが、私の教室に来て1年目のAちゃんのレッスンの折、Aちゃんのお母さんが「Aが小学校に上がる4月からは、私も時間ができるので、レッスンをお願いできますか？」とおっしゃるのです。お母さんはとても音楽が好きなのですが、ピアノは全く弾いたことがないそうです。
大人の初心者をお教えるのは、子どものそれとはかなり違うと聞いています。大人へのレッスンの経験がない私は、他の先生を一度ご紹介したのですが「Aと連弾するのが夢なので、ぜひ一緒に教えてください」と言われてしまいました。4月まであと3ヵ月。千代田先生、大人を教えるときのポイント、教える方の勉強方法等ご指導ください。
(20代後半 ピアノ教師)

A 自信を持って臨みましょう！

皆さま、はじめまして。千代田明子です。今までに公開講座などでお目にかかった先生もいらっしゃるかもかもしれません。渡辺明子です。人生いろいろ、このたび姓を改めました。ニュー明子としてますます頑張りますので、どうか宜しくお願い申し上げます。大人の指導歴はまだ14年ではありませんが、その中で悩みながら解決してきた経験から精一杯お答えしますので、どうぞ質問をドンドンお寄せください!!!

生徒さんのお母様から入門依頼があったとのこと。これは、日頃の先生の指導ぶりに好感を持ち、信頼をしているからのごお申し出です。スバラシイ！ですから、まず自信を持ってレッスンに臨みましょう。
大人をレッスンする場合の心の準備として、次のことを心に留めておいてください。

- ①大人の生徒はフロになる可能性は極めて少なく、楽しみや自己実現を求めている。
- ②仕事や家庭など、自分以外の都合で予定が変わることがある。
- ③子どもに比べ体や指が硬く、上達のペースが遅い。

最初から何か大変そう、と思われるかもしれませんが、大人だからその素晴らしさもたくさんありますので、毎回少しずつコツをお伝えしていきますね。

大人を教えるポイントは、対象となる生徒さんによって大きく違いますが、今回の場合を考えると……いくつかのキーポイントがあります。「お母様の年齢は、おそらく20代から40代前半」「練習時間が作れる」「Aちゃんと連弾するのが夢」「ビジョンがはっきりしている」ので心配ありません。年齢的に指もやわらかいし、ピアノは初

めてでもAちゃんのレッスンを聴いて馴染んでいけるはず。音楽が好きななら、将来はソロを弾きたくなるかもしれません。
そこで、お母様が持っている可能性をご説明した上で、基礎からいよいよ始めていきます。将来連弾をするときは、お母様がセカンドパートになるでしょうから、へ音譜表読みはめくりなく、大譜表から始まる教材がよいでしょう。
また、「家で練習する中で困ったことはありますか？」と声掛けしながらレッスンしてみよう。大人は「自分が何に苦しんでいるか」を先生に説明できるので、この点では子どもより指導しやすいのです。

生徒さんが先生より年上の場合、敬語で堅苦しくなりそうでしたら、「丁寧語」を使って礼を尽くしましょう。指導者が若くて未熟でも「一生懸命さ」が伝われば、大人の生徒さんは大目に見てくれますし、逆にあなたに感謝もしてくれれます。そして、緊張と自信のなさをいっばいのアダルトビギナーへのレッスンで大切なことは、とにかく「ほめる」こと。これで生徒さんがどんなにかほっとすることでしょう！先生にほめられたらレッスンに通う方も多いのですから！

先生で自身の勉強については、あまり欲張らないでください。あれもこれもどれもこれも……なんて考えたら、ストレスが溜まっちゃいます。まずは大人の生徒さんがいるレスナー仲間や、楽器店の方などの生の声を聞いて、おすすめの教材、書籍、講座を手チェックしましょう。でも、一番よい方法は、目の前にいる生徒さんのレッスンをやる中で、困ったことをひとつずつ解決していくことかな。「大人ってこんなことが苦手だったのね。どうすればよいのかしら」「使い始めた楽譜が意外に難しかったわ。他の楽譜を探してみよう」といった、勉強のネタは生徒さんが提供してくれますよ。

我が子と連弾できるということは、母親にとってこの上ない喜びです。お母様の「夢の実現」に向けて、どうぞ頑張ってください。
千代田明子

第25回 東京

ピアノリストと技術者が共同研究

日本J.N.フンメル協会

1996年に設立された「日本J.N.フンメル協会」。協会主催で開催された過去2年間のレクチャーを眺めてみると、

- J.S.バッハ・クラヴィーア曲の奏法研究
- バッハの使用した楽器について
- ピアノの歴史と知られざる名曲
- 練習曲の歴史と指の訓練のための使い方
- 脱力と合理的練習方法

● ソナタの歴史と合理的練習方法と、ピアノ指導者に打ってつけのタイトルが並ぶ。これらのレクチャーのほぼ全ての講師を務めるのが、当協会会長の岳本恭治氏だ。氏は、『ピアノ』を読む(音楽之友社)などの著書で知られるピアノリスト・音楽ジャーナリストで、演奏活動、ピアノ構造学・改良史・奏法史の研究者として活躍している。

「岳本先生のお話は、ピアノリストと技術者、その両方の立場からアプローチした興味深いものばかり。独特の語り口と分かりやすい説明で、あっという間に時間が過ぎてしまいます」



フンメルと話すのは、福岡在住の中村淑子先生。



国際フンメル協会会長ルビツァ・パロヴァー博士(向かって左)と日本J.N.フンメル協会会長岳本恭治氏

にわたっている。ピアノリストの第一世代のひとりとして、完成間近のピアノフォルテの奏法をモーツァルトから受け継ぎ、シヨパンへと受け渡したフンメル。
「その後、リスト、ブラームスを経て近代まで発展してきたピアノ奏法を正しく修得するには、楽器の機能、それに伴い変化する奏法、様式を、ルーツから学ぶことが必要不可欠」

「日本J.N.フンメル協会」は、その名の通り、スロヴァキア出身のピアノリスト、作曲家のヨハン・ネポムーク・フンメル(1778-1837)の優れた業績を継承することが主要目的であるが、その研究テーマは、ピアノを中心とした音楽史全般

日本J.N.フンメル協会

入会金 個人会員：5,000円
年会費 個人会員：5,000円

■今後の活動予定

～レスナーのためのピアノの構造・改良史・奏法史を踏まえた短時間で効果の上がる実用的レクチャー2～

【変奏曲の歴史と合理的練習方法】

日時：第1回 4月17日(土) / 第2回 5月29日(土) / 第3回 6月26日(土)

いずれも 10時30分～12時30分

会場：中野坂上：日本ベーゼンドルファー東京ショールーム
リハーサルスタジオ

講師：岳本恭治、日本ベーゼンドルファーの技術者
※受講料は会員割引あり。会員でない方も受講可能。

問合せ：日本J.N.フンメル協会
〒154-0021 世田谷区豪徳寺1-4-6
☎/FAX 03-3425-5571
e-mail ken-1778@mtb.biglobe.ne.jp
http://www.5d.biglobe.ne.jp/hummel/